

9	美術	721
開隆堂		821

平成24年度用
中学校美術教科書

内容案内

美術
2・3

文部科学省検定済教科書 中学校美術科用 9開隆堂 美術 821

◎美術1(50頁)美術2・3(94頁)の使いやすい2冊構成にしてページを増やし内容を充実させました。



- 教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。
- 教科書は環境に配慮した用紙やインキを使用しています。

開隆堂

E&E 楽しく学ぼう
Education & Entertainment

開隆堂「美術」教科書 編集の基本方針

一人一人の生徒の心を開き、自発的に課題をつかみ、生徒が自ら創造活動を楽しむような心を育てる教科書づくりを目指しています。「美術」は、造形や美という視点から、心や暮らしを豊かにする目標をもった教科であるにとらえ、中学校三年間の基礎的で主体的な学びを基に、生涯にわたり美術を愛好する心情の育成、豊かな感性などを身につけられるようにすることを基本方針にしました。そして、新学習指導要領に対応しながら、美術の新たな課題や目標、内容や方法を見直しました。

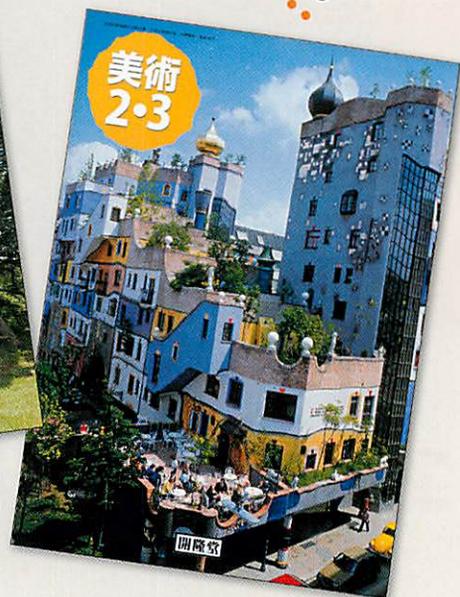
学習目標や学習の具体的な方法、それぞれの題材において培いたい資質や能力を整理して具体的に紙面に示しました。また、すべての生徒にとってわかりやすく、見やすい魅力的な紙面で、楽しく充実した学びを目指すとともに、「学習のねらい」と「振り返り」を示すことで、生徒の自立を促し、「美術文化の学習を通じた人間教育」の実現を図ることを心がけました。



美術1と美術2・3の使いやすい2冊構成にしました。

学習指導要領の趣旨を生かして第2学年及び第3学年を一冊にし、資料を充実させました。このことで、表現と鑑賞の学習のいっそうの深まりが期待できます。

また、義務教育最後の一冊となる美術教科書を生涯にわたって大切にしたいという著作者一同の願いも込められています。



教科書の6大特色

1 学習のねらいと振り返りを明確に示し、
確かな学力を育てます。

本冊子 p.4・5

2 授業の流れを重視した教えやすく
学びやすい紙面構成です。

本冊子 p.6・7

3 豊富な大型図版を使って、教科書で
作品鑑賞ができます。

本冊子 p.8・9

4 さまざまな伝統文化や地域・社会との
かかわりを大切にしました。

本冊子 p.10・11

5 安全、情報、平和などの今日的な課題に
応えます。

本冊子 p.12・13

6 発達の段階に応じて、系統性をもたせた
題材を配列しました。

本冊子 p.14・15

題材配列表

本冊子 p.16・17

観点別・編集の特色

本冊子 p.18・19・20

美術と社会との接点を大切にし、表紙は生活に生かされている建築を扱いました。

美術1は「美術—驚き・発見」をテーマに、茶室として使われるツリーハウスを取り上げています。

美術2・3の表紙は「美術—暮らしと文化」をテーマに今も共同住宅として使われているフンデルトヴァッサーハウスを取り上げました。

裏表紙も発達の段階に即してそれぞれのテーマに合った作品や建築物を取り上げています。

●美術—驚き・発見



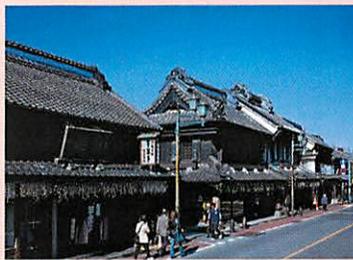
絵本と木の葉の美術展（泥木、木の葉、泥絵の具）2009年
鎌倉由緒館



ジャイアント・ト6やんの冒険（鉄、機械部品など 高さ720cm）2005年
ヤノベクンジ（1965～）

▲美術1裏表紙

●美術—暮らしと文化



蔵通りの町並み 埼玉県川越市
川越市には「蔵通りの町並み」が残っています。蔵造りは火災の被害を防ぐ



カサ・ミラ（ミラ跡）1905～10年
アントニオ・ガウディ（1852～1926）スペイン・バルセロナ

▲美術2・3裏表紙

▲新学習指導要領の「美術文化」に対応しています。

1 学習のねらいと振り返りを明確に示し、 確かな学力を育てます。

イメージを広げる題材名と学習内容を明確に示したサブタイトルで生徒を美術の学習へ誘います。

題材ごとに四つのめあてを明示しました。

- 関心・意欲・態度の目標
 - 発想・構想の目標
 - 創造的な技能の目標
 - 鑑賞の目標
- に対応しています。

基礎・基本を重視し、手順や技法、基礎的な知識を「 」囲みで示しました。

美術1、美術2・3にそれぞれ9か所設定しました。

題材に関連する情報や背景的知识など、生徒の探究心に応える内容を「 」囲みで示しました。

美術1に9か所、美術2・3に14か所設定しました。

広がる形や色から

技法の発見から表現へ

- 技法の工夫から生まれる形や色に関心をもとう。
- 技法の工夫から生まれた形や色から発想し、構想を広げよう。
- 思いが表現できるようにさまざまな技法を工夫しよう。
- 作品に用いられた技法やその効果に注目して鑑賞しよう。

絵の具を偶然に紙にたらしってしまったとき、不思議な形や魅力的な色彩が思いがけず現れることがあります。その形や色を美しく感じたことはありませんか。いろいろな技法や用具を使って、今まで気がつかなかった形や色を楽しんでみましょう。そして、技法の工夫から生まれた形や色からイメージを広げて、表現することを楽しんでみましょう。

■技法再発見

身近な道具や材料を使って描いてみたらどうなるでしょう。新しいよさや美しさと出会うことができます。それらを試したり組み合わせたりして、表現を工夫してみましょう。



ウィンターフォルウィンドウ
(罫子紙、水彩、色紙 にじみ、ぼかし、コラーージュ、スタンピング 各90×90cm)
生徒作品 (共同制作) 秋と冬のイメージで食堂の窓を装飾した。

●いろいろな表現技法の工夫



デカルコマニー
ガラスや吸水性の低い紙の上
に絵の具を出し、上から用紙をあ
ててこすり、写し取る。

スパッタリング
金網に絵の具をつけたブラシをこ
すりつけ、絵の具を霧状にして画
面にまきちらす。



ドリッピング
紙の上に絵の具をたらし、ロヤス
トロウを使って吹くなどして図柄
をつくる。

マーブリング
水面に墨汁や油で溶いた油性絵
の具をたらし、できた模様を上から
紙をあて、写し取る。



フロクタージュ
凹凸のあるものに薄めの紙をあて、
上から鉛筆やクレヨンなどでこす
り、形を写し出す。

コラーージュ
紙や写真、布などをはりつけて図
柄をつくる。



●足で描く絵—白髪一雫—

この絵は、天井からつるしたロープにぶら下がり、床に寝かせたキャンパスに足で描いたものである。白髪一雫は、迫力ある作品を生み出すために全身を使って絵の具と格闘し、足で描く方法を考え出した。

タダヲ 作
天女の舞 (油彩 165×133.5cm) 2000年
白髪一雫 (1924～2008)
尼崎市長、兵庫県



足で描く白髪一雫

12
▲美術1 p.12・13「広がる形や色から」

作家の制作中の場面を掲載していますので、作家作品がより身近に感じられます。

図版を部分拡大し、表現の工夫への理解を深めます。
美術1に3か所、美術2・3に11か所設定しました。



▲美術1 p.14・15「写し取る形」

題材ごとに四つのめあてを示し、振り返りと合わせて、培った力を確認できます。また、基礎・基本を重視し、囲み記事として分かりやすくまとめました。

1 学習のねらいと振り返りを明確に示し、確かな学力を育てます。

■技法を生かして

さまざまな技法の効果から発想し、作品制作に生かしてみよう。

にぎやかな家（水彩、包装紙など スパッタリング、ドリッピング、コラージュなど 38x54cm）生徒作品 さまざまな技法を工夫してにぎやかな感じを表現している。



小見出しを設け、どのように学習を進めていくのか、学びのポイントを明確にしました。

制作のヒントになるように多様な生徒作品を掲載しました。また、生徒の言葉や作品解説も添えるように心がけました。



海の中を楽しく過ごすカニ（水彩、クレヨン、色画用紙など アカルコマニー、ドリッピング、にじみなど 27x39cm）生徒作品



私が森の動物に生まれ変わったら（水彩、色画用紙、厚紙など スパッタリング、ステンシル、コラージュなど 38x54cm）生徒作品 型紙によるスパッタリングの技法を用いた。

◎は学習の振り返りを示しています。学んだことを自己確認できます。



真夜中の動物（水彩、色画用紙など スパッタリング、コラージュなど 45x35cm）生徒作品



ジャックと豆の木（綿、モールなど コラージュ 37x26cm）生徒作品 いろいろな素材の組み合わせを工夫して豆の木を表した。

◎さまざまな技法を活用して、発想や構想を広げて表現しましたか。

13

作家作品だけでなく、生徒作品もあわせて掲載することで、鑑賞をきっかけにした発想・構想の力が発揮されるようにしました。

発想・構想のヒントや鑑賞を深める手立てになるように作家の言葉も多く掲載しています。



▲美術 2・3 p.70・71 「光がつくり出す色彩をつかまえて」

▲新学習指導要領の「共通事項」に対応しています。

2

授業の流れを重視した 教えやすく学びやすい紙面構成です。

作家作品の鑑賞や作家の言葉をきっかけとして、題材への関心・意欲を高めます。作家の言葉は、美術1に4か所、美術2・3に8か所を囲み記事として設定しました。

ここでは、表現したい風景を見つけるための発想のヒント、活動の例を示しています。

4ページ構成の題材の例

▼美術1 p.8~11 「心ひかれる風景」

心ひかれる風景

私のお気に入りの場所、そして時間

あなたのお気に入りの場所はありますか。美しい風景に心ひかれたことはありませんか。それぞれの風景にはその時間、その季節でしか見ることで見えない美しさがあります。時間や光の変化を大切に自分がお気に入りの風景を描いてみましょう。

■自然を見つめる

人は昔から、季節や時間、天候による自然の変化を楽しみ、美しさを感じて描いてきました。空に向かって立つゴツノの糸杉の強さと、葉のしっとりとした雨の絵を比較して味わってみましょう。

作者はどこに
心ひかれたのだ
と
思いますか。

どんな
表現の工夫を
しているの
でしょうか。

学びのポイント

- 風景画のよさや美しさに関心をもとう。
- 風景のよさや美しさをスケッチなどを通して見つけよう。
- 色彩や構図を工夫し、季節や時間を表現しよう。
- 作者の思いを考えながら風景画を鑑賞しよう。

■新たな美しさを見つめる

見上げたり、下ろしたり、部分をクローズアップしたりして、視点を変えてみましょう。どんな発見ができるのでしょうか。

木の葉の緑と
空の色の対比が
美しい。

木の幹が、
雲々として
力強い。

葉の隙から
見える空の形が
複雑でおもしろい。

水たまりに映る
空と、木の葉の形が
おもしろい。

自転車のタイヤが
規則的で美しい。

■色を見つける

自然にはたくさんの美しい色があります。それらを意識して発見してみましょう。ここでは、発見した色を中心として、形にこだわらず、のびのびとスケッチしてみましょう。

見上げた木 (水彩 20×14cm) 生徒作品

小倉井公園の広場 (水彩 11×16cm) 生徒作品

小さな樹に
何枚もかこう

鹿がかりの道筋 (水彩 20×14cm) 生徒作品

題材の分野・内容をページ左端の色帯で示しました。

- は、絵・彫刻の分野、
- は、デザイン・工芸の分野を示しています。

作品鑑賞の手立て、きっかけとなる「問いかけ」を設定しました。

2ページ見開き構成の題材も、授業の流れを重視した紙面構成としました。

関連するページへのリンクを示し、学習内容に広がりをもたせられるよう配慮しました。

3

豊富な大型図版を使って、教科書で作品鑑賞ができます。

表紙をめくると、迫力ある名作が目飛び込んできます。

▼美術 2・3 p.3~7「教科書美術館へようこそ」

教科書美術館へようこそ

美術作品を鑑賞しよう

琳派を代表する尾形光琳は、江戸時代、京都を中心に活躍しました。晩年の代表作である「紅白梅図屏風」は、日本美術における伝統的な絵画表現の特徴である平面的な装飾性を最もよく表した作品として知られています。

日本美術の装飾的、平面的な表現と、西洋的な透視図法を使ったエステスの表現(5~7ページ)を比べてみましょう。

取り上げた国宝【国宝】や重要文化財【重文】を明示しました。3年間を通して32点の国宝、13点の重要文化財に出合います。

▼美術 1 p.37「美しさの交流」より



青花蓮池魚藻文罎 (高さ28.2cm) 中国・元時代 14世紀 大阪市立東洋陶磁美術館、大阪府【国文】

紅白梅図屏風 (紙本着色画、二曲一双、各156×172.2cm) 1710年代 尾形光琳 (1658-1716) MOA美術館、静岡県【国宝】 自然な感じに描かれた枝の輪郭とデザイン的な装飾は、美の意匠が凝縮されている。左翼(向かって左側)の波の音が付着した老木の幹と、右翼(向かって右側)の花をつける若い老木の枝が対照的に描かれている。



左翼



右翼

▲▼新学習指導要領の「鑑賞の充実」に対応しています。

3

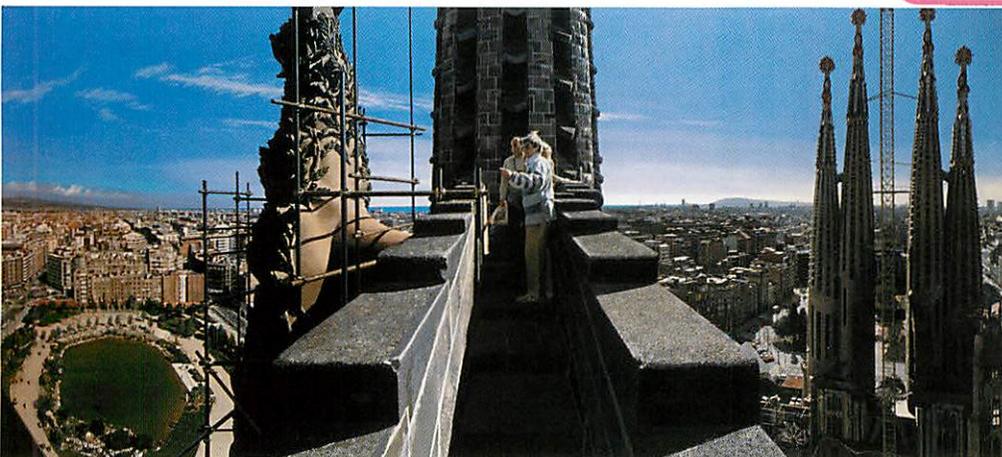
068-09「江戸のデザインセンス」を参考にしよう。

この図版は写真ではありません。画家が絵巻の頁で描きました。よく見ると、1枚の写真ではとらえきれないような細かい筆遣いや墨の濃淡が確認できます。どこがどのように描かれたのか、この図版の構成を考えてみましょう。

3ページ目の「紅白梅図屏風」と比較して、描き方や表現の違いを話し合い、それぞれどのようなところがいちど感じたかを話し合ってみましょう。

3・4ページの「紅白梅図屏風」と比較して、描き方や表現の違いを話し合い、それぞれどのようなところがいちど感じたかを話し合ってみましょう。

作品鑑賞の手立て、きっかけとなる「問いかけ」を設定しました。



この作品は建築家アントニ・ガウディが、スペインのバルセロナに建てさせたキリスト教の聖堂です。1908年に建築が始まりました。ガウディは、この聖堂を完成させるまで生きていませんでした。1926年にガウディが亡くなったとき、この聖堂はまだ完成していませんでした。この聖堂は、バルセロナのシンボルとして知られています。

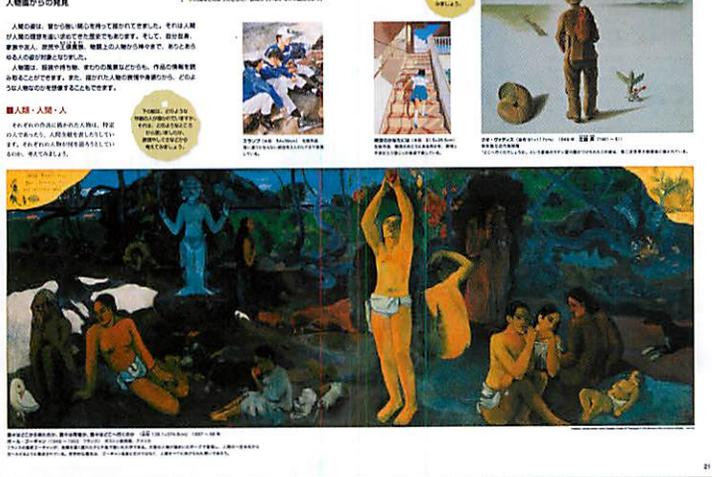
折込ページを活用し、3ページにまたがる大きな図版を掲載しました。

大型図版を豊富に掲載し、鑑賞学習の充実を図るとともに、鑑賞学習のきっかけとなる「問いかけ」を設定し、興味・関心を高めるように工夫しました。

▼新学習指導要領の「鑑賞の充実」に対応しています。

2ページにまたがる図版や1ページ大の大きさの図版も多数掲載しています。

描かれた人が語るもの



▲美術2・3 p.20・21 「描かれた人が語るもの」

▼美術2・3 p.61 「人がつくる、技を極める」



原寸大の図版で、美術工芸作品の醍醐味を味わうことができます。



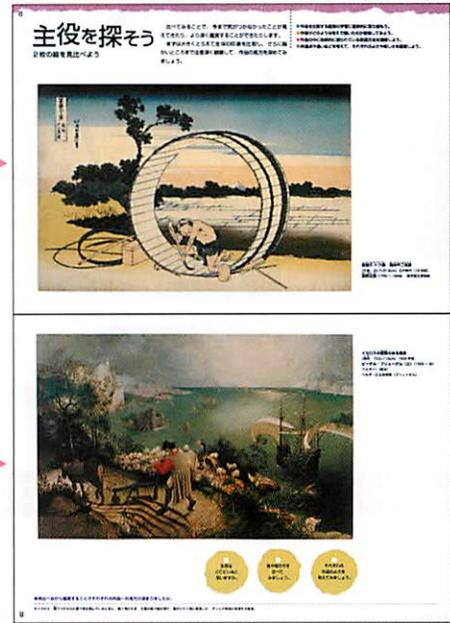
▲美術1 p.34 「美しさの交流」



▲美術2・3 p.34 「モノトーンのみしさ」

手元でじっくりと鑑賞できるようにレイアウトを工夫しました。

▼美術1 p.32・33 「主役を探そう」



物語を描く

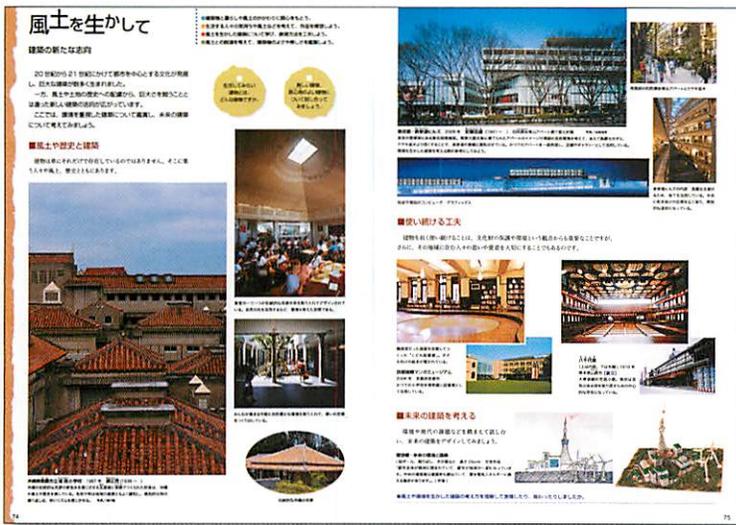


▲美術2・3 p.65~67 「物語を描く」

3 豊富な大型図版を使って、教科書で作品鑑賞ができます。

さまざまな地域の伝統や文化などに触れ、美術科で培った力を生活・社会に生かす、自己と他者や社会とのかかわり合いを考える学習を重視しました。

4 さまざまな伝統文化や地域・社会とのかかわりにを大切にしました。



▲美術 2・3 p.74・75 「風土を生かして」

日本のその土地ならではの建築物を、環境の観点から取り上げています。暮らしと環境に目を向けます。

授業で身につけた力が学校や地域の生活で生きている題材を多数設定しました。学習したことが人々との交流を深めます。



▲美術 2・3 p.8・9 「美術のちから」

▼美術 1 p.38・39 「隣の国々アジア」



世界遺産やアジアの国々の中学生の作品の鑑賞を通して近隣諸国への理解を深め、交流を図ります。

▲新学習指導要領の「社会とのかかわり」に対応しています。

▲新学習指導要領の「国際理解」に対応しています。



▲美術 1 p.42・43 「のぞいてみよう、美術館」

さまざまな地域の美術館の取り組みを紹介しました。

この頁に掲載した美術館

札幌彫刻の森 佐藤忠良記念子どもアトリエ（北海道）、埼玉県立近代美術館（埼玉県）、東京国立近代美術館（東京都）、名古屋市美術館（愛知県）、滋賀県立近代美術館（滋賀県）、岡山県立美術館（岡山県）、福岡アジア美術館（福岡県）、みやざきデジタルミュージアム（宮崎県）

5

安全、情報、平和などの今日的な課題に応えます。

道具の基本的な使い方などを示すとともに、安全についても十分に配慮しました。

安全



利き手で刀を持ち、もう片方の手を添えて切る。方の進む方向に指や手が出ないようにする。紙は、すべり止めなどで固定する。



交通に注意して。

▲美術1 p.9 「心ひかれる風景」より

デジタルカメラやホームページ、映像など情報化社会に対応した題材を取り上げました。

▼新学習指導要領の「IT機器の活用」に対応しています。

学校紹介プロジェクト

社会に向けて伝えるデザイン

学校の魅力を伝えるには、多くの人々を惹きつける、視覚的に訴えるデザインが必要になります。学校紹介のデザインを通じて、その魅力を伝えるデザインを学びます。

●ホームページのデザイン

●イメージキャラクターのデザイン

●リーフレットのデザイン

私たちのイメージ画にのせて

校内作品展 平成22年3月5日(祝)

●ポスターのデザイン

●展示のデザイン

●ポスターの制作

●展示の準備

●展示の進行

●展示の振り返り

▲美術2・3 p.46~49 「学校紹介プロジェクト」

道具箱

小学校図画工作で学んだ体験を生かし、中学校美術の力をつけていこう。

●パレットの使い方

水彩絵の具は 小さな場所の色を塗って、さまざまに組み合わせることで色づくりをする。

●パレットの洗い方

水でよくすすぎ、水がさらさらになるまですすぎ、すすぎ水は捨て、乾かす。

●彫刻刀の種類と使い方

大の字、小の字、三角の字、平の字、切り出しの字

安全

●カッターナイフや小刀

安全

●電動糸のこぎり

▲美術1 p.46・47 「道具箱」

■光で描く

光の軌跡を撮影することで、光の線で描いたような作品ができあがります。イメージどおりに表現できるように、何度も描いてみましょう。



ライトドローイング
生徒作品 (共同制作)
暗室でペンライトなどの光源をカメラに向かって動かして、空中に絵を描く。カメラを固定して、シャッター速度を遅く設定して撮影すると光の軌跡を写すことができる。ペンライトに色セロハンをかぶせると色のついた光となる。

▲美術1 p.30・31 「変化させる絵」

アニメーションで伝えよう

キャラクター、動物の動き、いろいろなものを、簡単に動かして表現しよう。

■やさしさをこめて伝えよう

動物の姿や動き、いろいろなものを、簡単に動かして表現しよう。

分かりやすい解説や資料を多くするなど、生徒が興味をもって、主体的な学習活動ができるようなさまざまな工夫をしました。

5 安全、情報、平和などの今日的な課題に応えます。

平和、命、つながり

美術を通して私たちが学ぶこと

平和への願い、命の尊厳

美術へのやさしいまなざし

美術を通して、自分たちの身近な生活から、平和や生きること、表現することの意味を考えます。

▲美術 2・3 p.62～64 「平和、命、つながり」

▲新学習指導要領の「社会とのかかわり」に対応しています。

美術の学習を通して、発想する力や創造する力を身につけ、自分らしい表現を追求したり、発見する楽しさを学びます。美術の学習で身につけた力を、これからの生活に生かす大切さを考えることからキャリア教育にもつながる題材を設定しました。

生きることと美術

私たちがとって美術とは

社会に実用する美術

▲美術 2・3 p.84・85 「生きることと美術」

暮らしや生活の中にある美術

新しい和食を創造する矢野綾三さん

バレエ衣装をつくる吉野綾香さん

暮らしの中の仕事

暮らしや生活の中にある美術

▲美術 2・3 p.92・93 「暮らしや生活の中にある美術」

中学生の思い描く未来は、平和な社会であってほしいと願います。そして、すべての人々が美しさを感じ、豊かな感性を大切にしながら生きることのできる社会こそ、平和な社会だと信じます。

6

発達の段階に応じて、系統性をもたせた題材を配列しました。

3年間を見通した学習の流れ

「美術1」でつけた基礎的な力を「美術2・3」で深め、発展させることができます。

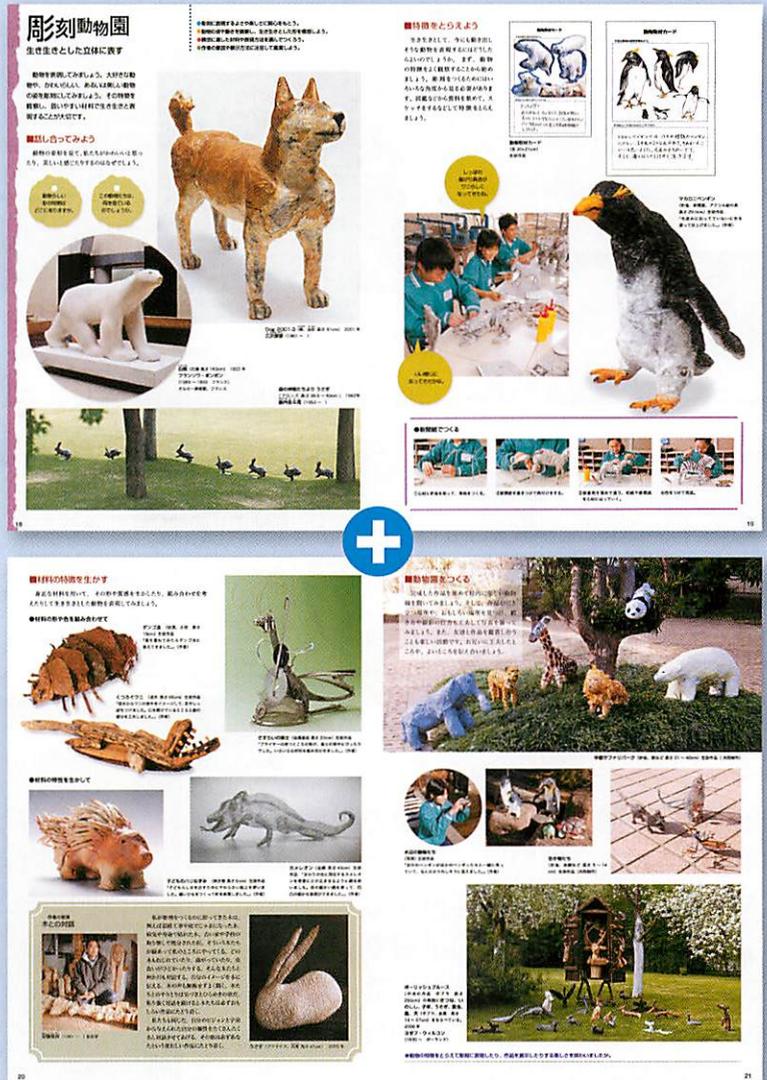
「彫刻」の学習

「美術1」

スケッチなどをもとに、材料を選んで立体作品に表す方法を学習したり、楽しく展示する方法を学んだりします。

「美術2・3」

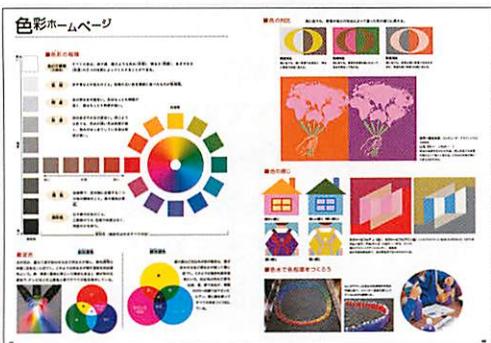
彫刻作品の量感や質感、作品を構成する空間感などについて学んだり、作家作品や伝統的な彫刻である仏像について学んだりします。



▲美術1 p.18~21 「彫刻動物園」

美術学習の基礎・基本である色彩についても、発達の段階に応じた資料を掲載し、3学年にわたって無理なく学習できるように配慮しました。

▼美術2・3 p.89~91 「色彩ホームページ」



▲美術1 p.48・49 「色彩ホームページ」



「美術2・3」では、日本の伝統色について取り上げ、色の原料や色名の由来となったものも合わせて掲載することで、理解を深めます。



「美術1」と「美術2・3」、「表現」と「鑑賞」の学習の関連を重視し、3年間を通して、その内容の深まりと広がりを考慮するとともに、鑑賞題材の充実を図りました。

6 発達の段階に応じて、系統性をもたせた題材を配列しました。

空間を感じて
手や人物の形から空間へ

■手の構造や空間から
手は多岐にわたる機能を持つ。その構造や空間から、さまざまな表現が可能になる。

■形が手や人物の空間を表現して
手や人物の形を表現することで、空間の広がりや奥行きを表現できる。

人の形に込めたもの
人の造形

■人の形に込めたもの
人の形は、その姿や動きから、さまざまな感情や思いを表現できる。

■人の形に込めたもの
人の形は、その姿や動きから、さまざまな感情や思いを表現できる。

▲美術2・3 p.40・41「人の形に込めたもの」

空間を感じて
空間表現としての空間

■空間表現としての空間
空間表現は、その空間の広がりや奥行きを表現する。

■空間表現としての空間
空間表現は、その空間の広がりや奥行きを表現する。

▲美術2・3 p.36~39「空間を感じて」

願いや祈りの形
仏像

■願いや祈りの形
仏像は、その姿や動きから、さまざまな感情や思いを表現できる。

■願いや祈りの形
仏像は、その姿や動きから、さまざまな感情や思いを表現できる。

▲美術2・3 p.72・73「願いや祈りの形」

「美術1」では、1年間の学習・表現活動を振り返り、まとめのデザインをすることで「美術2・3」の学習につなげます。

私の歩み
作品集をデザインする

■自分の歩みをつくる
自分の歩みをつくることで、自分の成長を振り返ることができる。

■自分の歩みをつくる
自分の歩みをつくることで、自分の成長を振り返ることができる。

■自分の歩みをつくる
自分の歩みをつくることで、自分の成長を振り返ることができる。

▲美術1 p.40・41「私の歩み」

題材配列表

小学校「図画工作」と中学校「美術」の連携を図りました。

楽しかった図画工作を振り返り、自信をもって中学校の造形活動へと意欲的に取り組んでいける工夫です。



▲美術 1 p.2~4 「図画工作から美術へ」

▲新学習指導要領の「小・中の連携」に対応しています。

美術 1

資料 (鑑賞)	資料 (鑑賞)	絵	絵
図画工作から美術へ	表現の始まり 見ること発見	心ひかれる風景 私のお気に入りの場所 そして時間	広がる形や色から 技法の発見から表現へ
p.2~4	p.5~7	p.8~11	p.12~13

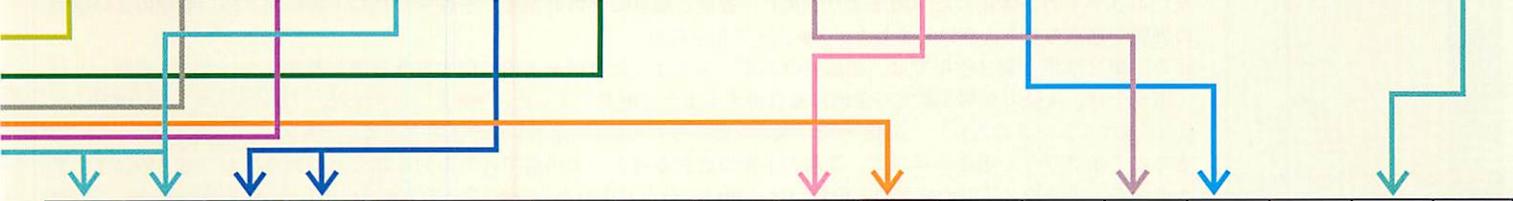
美術 2・3

資料 (鑑賞)	資料 (鑑賞)	絵	絵	絵	絵	絵	絵 デザイン・ 工芸	絵	絵	彫刻	彫刻	デザイン	デザイン	デザイン
教科書美術館へようこそ 美術作品を鑑賞しよう	美術のちから 心豊かに、生きる喜び	風景が語るもの 道に思いを込めて	奥行き表現 遠近法の仕組み	自分探しの旅 自分と出会う	描かれた人が語るもの 人物画からの発見	驚きの世界へ 形や色のトリック	伝統の美に学ぶ 日本の美術、日本の造形	伝統と改革・日本画 根ざした絵画 日本の風土に	モノトーンの美しさ 水墨画の世界	空間を感じて 手や人物の形から抽象彫刻へ	人の形に込めたもの 人体の造形	デザインする心 イラストレーションを楽しむ	デザイン行動 問題を解決するデザイン	学校紹介プロジェクト 伝えるデザイン 社会に向けて
p.3~7	p.8~9	p.10~13	p.14~15	p.16~19	p.20~23	p.24~27	p.28~31	p.32~33	p.34~35	p.36~39	p.40~41	p.42~43	p.44~45	p.46~49

※題材名の色分けは□は絵・彫刻の分野、■はデザイン・工芸の分野を示しています。

「分野・領域」ごとに、ねらいや育てたい力などを考慮して系統的にバランスよく配列するとともに、表現と鑑賞のページを相互に関連させることによって学習の深まりと広がりが期待できます。

絵	絵・彫刻	彫刻	デザイン	工芸	デザイン	絵	絵／デザイン・工芸	絵／デザイン・工芸	デザイン	資料(鑑賞)	資料	資料	資料(鑑賞)
写し取る形 版表現の楽しさ	動きを見つめて ポーズ、姿勢、そして動作	彫刻動物園 生き生きとした立体に表す	生活を豊かに 形や色、文字のデザインを工夫して	お気に入りの囲まれて 木や土の工芸	変化させる絵 動きや光を使って	主役を探そう 2枚の絵を見比べよう	美しさの交流 自分の見方を大切に	隣の国々アジア 見る、知る、交流する	私の歩み 作品集をデザインする	のぞいてみよう、美術館	Let's try!	道具箱	色彩ホームページ
p.14・15	p.16・17	p.18~21	p.22~25	p.26~29	p.30・31	p.32・33	p.34~37	p.38・39	p.40・41	p.42・43	p.44・45	p.46・47	p.48・49



デザイン	デザイン	工芸	工芸	絵・彫刻	絵	デザイン・工芸	絵	彫刻	デザイン	絵	資料(鑑賞)	資料(鑑賞)	資料(鑑賞)	資料(鑑賞)	資料(鑑賞)	資料(鑑賞)	
時代を見つめる 今を映すデザイン	デザインの広がり 未来をつくるデザイン	つくる・使う・楽しむ 素材を生かす工芸	人がつくる、技を極める 伝統を今に生かす工芸の美しさ	平和、命、つながり 美術を通して私たちが学ぶもの	物語を描く 絵巻物の世界	江戸のデザインセンス 琳派の造形	光がつくり出す色彩をつかまえて 印象派の絵画	願いや祈りの形 仏像の美	風土を生かして 建築の新たな志向	抽象から空間の表現へ 形と色だけの世界から空間へ	ルネサンスの美術 人間再発見と科学の時代	ジャポニスム 西洋の美意識に影響を与えた日本	美術を身近なものに ポップアートとその後の現代美術	生きることと美術 私たちにとって美術とは	美術の流れ	色彩ホームページ	暮らしや生活の中の美術
p.50・51	p.52・53	p.54~57	p.58~61	p.62~64	p.65~67	p.68・69	p.70・71	p.72・73	p.74・75	p.76・77	p.78・79	p.80・81	p.82・83	p.84・85	p.86~88	p.89~91	p.92・93

観点別・編集の特色

■平成24年度用文部科学省検定済教科書 9 開隆堂／美術721・821

観 点	特 に 工 夫 し た 点
学習指導要領との関連	<p>・平成24年度用美術科教科書においては、教育基本法、学校教育法に示された義務教育の目標の達成を大きな枠組みに据え、新学習指導要領における美術科の「目標」である「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。」を編集の基盤に置き、小学校図画工作科における学習経験をもとに、高等学校芸術科美術、工芸への発展を考え、中学校段階の感性や各種能力の発達に対応する系統的な題材によって構成しました。</p> <p>→全題材</p>
教科目標達成への配慮	<p>・学習指導要領に示された「目標」「各学年の目標及び内容」「指導計画の作成と内容の取扱い」をふまえて、課題の精選や配列を工夫するとともに、各題材の観点別の学習のねらいを明確にしました。</p> <p>・各題材の内容構成については、学習目標や学習の具体的な方法、それぞれの学習題材において培いたい資質や能力を整理して具体的に紙面化することで学習活動の見通しを示し、全体として美術科の目標が達成できるように配慮しました。</p> <p>・また、すべての生徒にとってわかりやすく、見やすい魅力的な紙面で、楽しく充実した学びを目指すとともに、学習活動の目標と振り返りを示すことで、生徒の自立的な学びの確認を促し、「美術文化の学習を通じた人間教育」の実現を図ることを心がけました。 →全題材</p>
内 容 範囲及び程度	<p>・題材は、表現及び鑑賞領域の内容構成ごとに、系統性をもたせてバランスよく配列しました。目次（p.2）には、題材名とページ番号に加えて、学習指導要領に示された分野・内容を色分けで示すとともに、各題材ページも分野・内容に対応した色帯で示しました。 →1年p.2「目次」、全題材／2・3年p.2「目次」、全題材</p>
	<p>・教科目標の達成に向けての「学習のねらい」を題材ごとに明確に示すと同時に、「学習の振り返り」も示しました。各題材で大切にしたい重点的な学習活動を「学習のねらい」として4観点（「関心・意欲・態度」「発想・構想」「創造的な技能」「鑑賞」）によって、わかりやすく簡潔な文章で最初に明示するとともに、それらをもとにした自己評価の観点を「学習の振り返り」として各題材の末尾に示しました。 →全題材</p>
	<p>・第1学年では、小学校図画工作科での学習と中学校美術科の学習を関連づけて理解できるように、わかりやすく提示しました。また、第2学年と第3学年では、美術科の学習の目的や意義を確認できるようにしました。</p> <p>→1年p.2～4「図画工作から美術へ」／2・3年p.8・9「美術のちから」</p>
	<p>・第2学年と第3学年では、学習指導要領の「目標」及び「内容」が2学年まとめて示された趣旨をふまえて、第2学年及び第3学年の一体化した学習をより強化し、表現と鑑賞の学習の深まりを促すために1冊にまとめ、効率のよい学習の展開を進められるようにしました。 →2・3年全題材</p> <p>・また、第2学年と第3学年では、美術史のエポックとなった事柄や美術に関する今日的な課題については「資料」として取り上げ、生徒の表現や鑑賞の学習に適宜資するように配慮しました。 →2・3年p.78・79「ルネサンスの美術」、p.80・81「ジャポニスム」、p.82・83「美術を身近なものに」、p.84・85「生きることと美術」</p> <p>・さらに、第2学年と第3学年では、美術の学習の意義を考え、美術科で育てた力を社会との関連においてどのように生かすかを、中学校3年間のまとめと位置づけて題材を設定しました。 →2・3年p.50・51「時代を見つめる」、p.62～64「平和、命、つながり」、p.84・85「生きることと美術」、p.92・93「暮らしや生活の中にある美術」</p>
	<p>・掲載作品は、日本・西洋・アジアの各地域、また、古代から現代までの各時代などに偏りがないように選定するとともに、作家作品と生徒作品をバランスよく配置しました。 →全題材</p> <p>・表現の学習と鑑賞の学習の関連を重視し、第1学年の学習から第2学年及び第3学年の学習へと、その内容の深まりと広がりを考慮するとともに、鑑賞題材の充実を図りました。</p> <p>・また、鑑賞の学習にあたっては、折り込みページの活用や大型図版の掲載によって鑑賞学習の充実を図るとともに、鑑賞学習の導入もしくはきっかけとなる「問いかけ」を設定し、鑑賞学習への興味・関心を高めるように工夫しました。</p> <p>→全題材</p>
<p>・学習内容を精査すると同時に、学習の深まりや広がりを重視し、各題材の学習目標や内容に応じて1単元2ページ構成、もしくは4ページ構成とする（主に表現題材）など、多様な実践に対応して授業が広げられるようにしました。</p> <p>→1年 p.8～11「心ひかれる風景」（絵）、p.18～21「彫刻動物園」（彫刻）、p.22～25「生活を豊かに」（デザイン）、p.26～29「お気に入りの囲まれて」（工芸）、p.34～37「美しさの交流」（鑑賞）／2・3年 p.10～13「風景が語るもの」（絵）、p.16～19「自分探しの旅」（絵）、p.24～27「驚きの世界へ」（絵・彫刻・デザイン）、p.28～31「伝統の美に学ぶ」（絵・デザイン・工芸）、p.36～39「空間を感じて」（彫刻）、p.46～49「学校紹介プロジェクト」（デザイン）、p.54～57「つくる・使う・楽しむ」（工芸）など</p>	
<p>・生徒の興味・関心を喚起するような身近な造形から造形芸術、美術文化へと学習の程度を深めたり発展させたりできるように配慮しました。 →全題材</p> <p>・基礎的な知識や技法の理解をもとに、発達段階に応じて自分自身の工夫を生かしていくことができるような題材設定を行いました。 →全題材</p>	
<p>・多様な素材や表現を学習できる作品例を数多く取り上げ、生徒の個性に対応できるようにしました。 →全題材</p> <p>・一つの題材で数種の学習方法を提示し、生徒の興味・関心や授業時数、材料などに応じて選択できるようにすることで、柔軟な指導計画に対応できるようにしました。 →全題材</p>	

観 点		特 に 工 夫 し た 点	
扱い及び 組織・ 分量	扱 い	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材の学習のねらいを明示し、それぞれの題材で何を学ぶのかをわかりやすく提示しました。→全題材 ・各題材の中で育む美術の基礎的な能力を明示し、それぞれの学習に必要な技法や知識を豊富に提示しました。→全題材 ・基礎的な技法や制作のプロセス、発想の手だてや知識などを囲み記事で豊富に掲載し、学習の便を図るとともに、免許外の先生にも教えやすくしました。→1年p.12・13「広がる形や色から」、p.14・15「写し取る形」、p.30・31「変化させる絵」など/2・3年p.10~13「風景が語るもの」、p.36~39「空間を感じて」、p.44・45「デザイン行動」、p.46~49「学校紹介プロジェクト」など ・各題材の学習を深め、発展させるとともに、学習への興味・関心を高める情報を囲み記事にし、コラムとして設定しました。→1年p.12・13「広がる形や色から」、p.14・15「写し取る形」、p.22~25「生活を豊かに」、p.30・31「変化させる絵」、p.34~37「美しさの交流」、p.38・39「隣の国々アジア」、p.40・41「私の歩み」など/2・3年p.10~13「風景が語るもの」、p.16~19「自分探しの旅」、p.20~23「描かれた人が語るもの」、p.24~27「驚きの世界へ」、p.28~31「伝統の美に学ぶ」、p.36~39「空間を感じて」、p.40・41「人の形に込めたもの」、p.46~49「学校紹介プロジェクト」、p.58~61「人がつくる、技を極める」、p.72・73「願いや祈りの形」、p.76・77「抽象から空間の表現へ」、p.78・79「ルネサンスの美術」、p.84・85「生きていることと美術」、p.89~91「色彩ホームページ」など ・作家作品や生徒作品では、作家や作者の言葉を豊富に掲載して、それぞれの作品を取り上げた意図を明確にすることで学習活動の参考になるようにしました。→全題材 ・生徒の活動場面や作家の制作場面を重視し、情景写真を多用することによって学習意欲を高めるように配慮しました。→全題材 	
	組 織	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では小学校図画工作科での学習をもとに中学校美術科の基礎的な内容を幅広く学習することを、第2・3学年では第1学年での学習をもとに、表現の学習を深めたり、表現と鑑賞の学習の深まりを促したりすることを目的として構成し、3年間を見通した柔軟な学習計画に対応しました。→全題材 ・基礎的な技能や、安全で効果的な道具の扱いについての基本的な知識、色彩についての理解などは、生徒各自の特徴ある表現を支える学びとして、より具体的にわかりやすく系統的に学習する必要があることから、これらを巻末にまとめて提示し、効率よく多様な題材の学習に対応できるように配慮しました。→1年p.44・45「Let's try!」、p.46・47「道具箱」、p.48・49「色彩ホームページ」/2・3年p.86~88「美術の流れ」、p.89~91「色彩ホームページ」 ・各巻の折り込みページは、単なる大型図版で作品等を示すだけではなく、それぞれの学習内容を多角的に考察できるよう、ワイドな構成を生かし、その中から生徒の視点を広げることを目的としました。→1年p.2~4「図画工作から美術へ」、p.5~7「表現の始まり」/2・3年p.3~7「教科書美術館へようこそ」、p.62~64「平和、命、つながり」、p.65~67「物語を描く」 	
	分 量	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年の題材を基本とし、第2学年及び第3学年の題材へと学びを深め、3年間の学習を見通した題材設定をしました。→全題材 ・描く活動とつくる活動のバランスについて配慮するとともに、共同で行う創作活動や、作品の発表や批評し合うこと、地域の伝統から学ぶことなどを目的とする題材を各巻に適宜設定しました。→1年p.2~4「図画工作から美術へ」、p.18~21「彫刻動物園」、p.22~25「生活を豊かに」、p.30・31「変化させる絵」、p.34~37「美しさの交流」、p.38・39「隣の国々アジア」、p.42・43「のぞいてみよう、美術館」など/2・3年p.8・9「美術のちから」、p.24~27「驚きの世界へ」、p.28~31「伝統の美に学ぶ」、p.36~39「空間を感じて」、p.44・45「デザイン行動」、p.46~49「学校紹介プロジェクト」、p.58~61「人がつくる、技を極める」、p.68・69「江戸のデザインセンス」など 	
表現の工夫	文 章	<ul style="list-style-type: none"> ・題材名でイメージを広げサブタイトルで学習内容を明確に示すとともに、その横に「学習のねらい」を観点別に示し、何をどのように学習するのかをわかりやすく提示しました。また、主文は簡潔であることと、学習意欲を高めることができるように配慮しました。→全題材 ・作品の解説は、鑑賞するポイントや学ぶべき点を明確にするとともに、生徒の心情に届くようにしました。→全題材 	
	写 真・ 図解	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の鑑賞が深まるように、必要に応じて部分拡大と組み合わせるなど、その題材に適した撮影を心がけました。 ・作品の再現性を重視し、オリジナル写真を多用するとともに、理解しやすい図解を掲載しました。→全題材 	
	レ イア ウト	<ul style="list-style-type: none"> ・美術科の教科書であるがゆえに求められるデザイン性や美しさなどに配慮し、レイアウトや体裁、色彩の豊かさなどを追求して生徒の美的感覚や情操を刺激し、最も身近で生涯にわたっての「美術書」となることを目指して作成しました。 ・読みやすさとわかりやすさを重視した構成にしました。特に、弱視への配慮として、文字は白地や薄い色の上に黒色で印刷するとともに、大きさにも注意して、図版サイズも読み取りやすさを重視しました。→全ページ 	
造本・ 体裁	印 刷・ 製本	<ul style="list-style-type: none"> ・再現性の高い写真原稿などを使用し、紙質や紙色などにも細かな配慮をして、最適のコート紙を厳選しました。また、今日的な環境問題にも配慮し、すべて再生紙を使用するとともに、インキは大豆油インキを使用しました。 ・作品のもつ微妙なニュアンスや質感などを忠実に再現するために、最新の印刷技術を駆使し、かつ入念な色校正に努めました。→全ページ 	
	製 本	<ul style="list-style-type: none"> ・開いたときの使いやすさと堅牢さを考慮して、ミシン綴じ、見返し付きなど堅牢な製本とし、表紙にビニール加工をすることでやぶれにくく汚れずに長期間の使用に耐え得るようにしました。また、裏表紙には氏名などを記入できる欄を設けるとともに、記入にあたってはにじみなどができないような加工を施しました。→全ページ 	
	装 丁	<ul style="list-style-type: none"> ・表表紙の作品は、美術館の中に取められた作品ではなく、第1学年、第2・3学年ともに「社会とともに生きる美術」をテーマにし、オープンスペースにあり、生活の中で生きている美術作品を取り上げて、それぞれ選定・撮影をしました。→1年表表紙/2・3年表表紙 ・裏表紙は、第1学年は「驚き・発見」をテーマに、表現活動にかかわる楽しいイベントを取り上げ、第2・3学年は「暮らしと文化」をテーマに、暮らしに息づく日本と西洋の建築物を取り上げました。→1年裏表紙/2・3年裏表紙 	

1. ページ数 (A4判)

	1年	2・3年	合計
(1) 絵に表す活動のページ数	10	36	46
(2) 彫刻に表す活動のページ数	4	8	12
(3) デザインに表す活動のページ数	10	16	26
(4) 工芸に表す活動のページ数	4	8	12
(5) 鑑賞活動のページ数	17	22	39
(6) 材料や用具の扱いに関する内容のページ数	2	—	2
(7) 色彩に関する内容のページ数	2	3	5
(8) もくじ	1	1	2
総ページ数	50	94	144
※備考	※(5)には、表紙(表・裏)、「図画工作から美術へ」(p.2~4)、「表現の始まり」(p.5~7)を含める。	※(5)には、表紙(表・裏)、「教科書美術館へようこそ」(p.3~7)、「美術のちから」(p.8・9)を含める。	

2. 題材数

	1年	2・3年	合計
(1) 絵に表す活動の題材数	4	12	16
(2) 彫刻に表す活動の題材数	1	3	4
(3) デザインに表す活動の題材数	4	7	11
(4) 工芸に表す活動の題材数	1	2	3
(5) 鑑賞活動の題材数	7	9	16
(6) 材料や用具の扱いに関する内容の題材数	1	—	1
(7) 色彩に関する内容の題材数	1	1	2
総題材数	19	34	53
※備考	※(5)には、「図画工作から美術へ」(p.2~4)、「表現の始まり」(p.5~7)を含める。	※(5)には、「教科書美術館へようこそ」(p.3~7)、「美術のちから」(p.8・9)を含める。	

3. 紙面構成の扱い

	1年	2・3年	合計
(1) 2ページ展開の題材数	11	19	30
(2) 3ページ展開の題材数	2	4	6
(3) 4ページ展開の題材数	5	9	14
(4) 5ページ展開の題材数	—	1	1

4. 作品数など

	1年	2・3年	合計
(1) 生徒作品数	140	203	343
(2) 作家作品数			
ア. 日本人作家作品数	24	105	129
イ. 外国人作家作品数	12	96	108
(3) その他の作品数 (文化財・民芸品・建造物など)	10	66	76
(4) 基礎的な表現技法や知識などの写真や図版			
ア. 写真	55	14	69
イ. 図版	19	2	21
(5) 表現や鑑賞活動の情景写真数	109	154	263
(6) 題材に関する情報 (コラム数)	10	11	21
(7) 作家作品の作家の言葉	4	10	14
(8) 生徒作品の作者の言葉	30	22	52
(9) 2分の1ページ以上にわたる大きさの作品数	3	12	15
(10) 安全についての記載箇所数	5	2	7



開隆堂出版株式会社

<http://www.kairyudo.co.jp>

平成24教 内容解説資料

- | | | |
|---------|---------------------------------------|-------------------|
| ■ 本 社 | 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 | TEL. 03-5684-6111 |
| ● 北海道支社 | 〒060-0061 札幌市中央区南一条西6丁目11番地 札幌北辰ビル8階 | TEL. 011-231-0403 |
| ● 東北支社 | 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町1-11-1 萩野町Mビル2階 | TEL. 022-782-8511 |
| ● 名古屋支社 | 〒464-0802 名古屋市中種区星が丘元町14-4 星ヶ丘プラザビル6階 | TEL. 052-789-1741 |
| ● 大阪支社 | 〒550-0013 大阪市西区新町2-10-16 | TEL. 06-6531-5782 |
| ● 九州支社 | 〒810-0075 福岡市中央区港2-1-5 FYCビル3階 | TEL. 092-733-0174 |